## 単位変換の方法

PowerLab での信号のキャリブレーションは、 基準となる信号を一度入力していただき、 それを基にソフトウェア上で変換する流れとなっております。

- 1. キャリブレーション信号を記録します。(例えば 0gの信号と 100gの信号)
- 2. 記録を停止し、記録したキャリブレーション信号をマウスで囲い、黒反転させます。



3. 右側に記載されたチャンネル名の右にある▼をクリックすると、プルダウンメニュー が表示されます。その中から「単位変換」を選択します。



4. 選択した部分がプレビュー部分に表示されます。

	チャンネル1単位変換	×
2点キャリブレーション 🗸 🗸	単位変換: ④オフ(F) 〇オ)	2 <mark>(0)</mark>
ポイント1:	<ul> <li>◆ 単位名(U): [単…</li> <li>◆ 小数点位置(D): 2</li> </ul>	> •
<ul> <li>▼</li> <li>1.0 ·</li> <li>0.5 ·</li> <li>&gt;</li> <li>&gt;</li> <li>-0.5 ·</li> <li>+</li> <li>-1.0 ·</li> </ul>	単位設定対象: ● 全データ及び新規データ ○ 新規データのみ(N) ○ 選択ブロック(B)	?(E)
0	OK キャンセル プレビュ	- <mark>(</mark> P)

5. キャリブレーション信号の1つの点(例えば 0g)の一部分をマウスで囲います。



6. ポイント1の右側にある⇒をクリックします。すると、選択した部分の平均値が右の 空欄に表示されます。

	チャンネル1単位変換
2点キャリブレーション 🗸	単位変換: ④オフ(F) 〇オン(0)
ポイント1:  ・ -0.0009375 V ポイント2:  ・	<ul> <li>▶ 単位名(U): [単 ▼</li> <li>小数点位置(D): 2 ◆</li> </ul>
<ul> <li>▼</li> <li>1.0 -</li> <li>0.5 -</li> <li>&gt; 0.0 -</li> </ul>	単位設定対象: <ul> <li>● 全データ及び新規データ(E)</li> <li>● 新規データのみ(N)</li> <li>● 選択ブロック(B)</li> </ul>
-0.5 -	ок キャンセル プレビュー(P)

7. その右の空欄に、その点に対するキャリブレーションの値を入力します。(例えばゼロ)



8. ポイント2に対しても同じ動作を繰り返します。(もう一つの点のキャリブレーション 値は100とします。)

	チャンネル1単位変換	×
2点キャリブレーション	•	単位変換: ○オフ(F) ④オン(O)
ポイント1: 🄶 -0.0009375 V	→ 0	単位名(U): [単 ∨
ポイント2: 🍑 1.01688 V	→ 100	小数点位置(D): 2 🔶
<ul> <li>■</li> <li>■</li></ul>		<ul> <li>単位設定対象:</li> <li>● 全データ及び新規データ(E)</li> <li>● 新規データのみ(N)</li> <li>○ 選択ブロック(B)</li> </ul>
0	ОК	キャンセル ブレビュー(P)

 単位名の右をクリックし、該当する単位を選択します。(例えばg) 該当する単位がない場合は、リストの下の「単位設定」を選択することで、 単位を設定することができます。

単位設定
接頭辞 単位( m V
例:499 mV
<ul><li>OK キャンセル</li></ul>

10. 表示させる値の小数点位置の値を入力します。



OK をクリックすると、指定した単位で、キャリブレーションされた値が表示されます。